

# 袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略【案】（概要）

## 人口ビジョン

### I.人口の現状分析

- ・袖ヶ浦市の人口は社会増を中心に右肩上がり増加  
1970年 25,500人⇒2010年 60,355人（約2.4倍）
- ・現在は人口横ばい水準。合計特殊出生率は1.45と県内5位

### II.将来人口推計

- ・社人研の推計によると、2060年 43,325人
- ・市民の希望出生率 1.74、国の目標 2.07
- ・袖ヶ浦駅海側土地画整理事業の開発等により 2,500人の増加

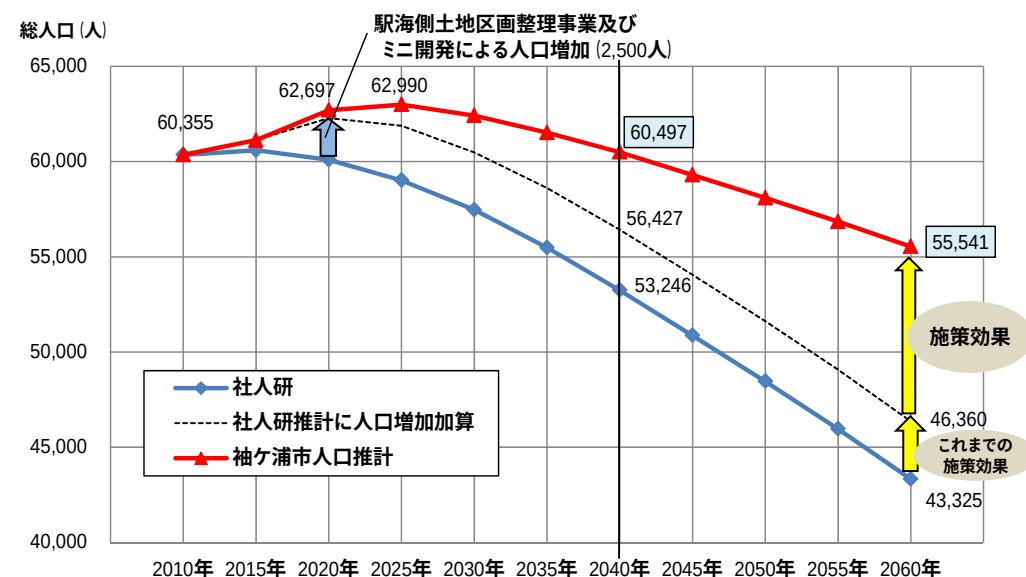
### III.人口の将来展望

- ・希望出生率の実現から国の目標水準までの出生率の引き上げ
- ・移動率の増加（プラスの移動率増加、マイナスの移動率縮小）

2060年の市の推計人口⇒55,541人

目指すべき将来の方向性

- ①結婚・出産・子育てに関する市民の希望の実現
- ②産業の持続的な発展と安定的な雇用の場の確保
- ③地域資源を活用した交流人口の拡大と、それに基づく移住・定住の促進



(注) 人口増加要因として、2025年までに袖ヶ浦駅海側土地画整理事業による2,000人の人口増と、ミニ開発による500人の人口増を加算して試算。

## 総合戦略

(2015～2019 年度)

### 総合戦略の概要

#### (1) 策定の趣旨

国では人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、地域課題の解決により魅力あふれる地方の創生を目指すこととしている。

本市においても、自ら客観的な分析に基づいてその課題を把握し、将来懸念される人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって持続的に発展していくために、袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する。

#### (2) 対象期間

総合戦略の対象期間は、2015年（平成27年）度から2019年（平成31年）度までの5か年とする。

#### (3) 市総合計画との関係性

市総合計画は、本市の総合的な振興・発展などを目的とした最上位計画であり、「袖ヶ浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少対策・地方創生に資する特定の施策を位置づけ、相互に連携して推進するものである。

#### (4) 国の総合戦略との関係

国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則等を踏まえ、本市における、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指す。

### 市の基本目標

結婚・出産・子育ての希望がかなうまち袖ヶ浦

活き活きと働くことができるまち袖ヶ浦

住む人も、訪れる人も満足できるまち袖ヶ浦

地域がつながり、安心して暮らせるまち袖ヶ浦

### 基本的方向

- 結婚・出産の支援
- 子育て支援体制の充実
- 学校教育の充実

- 基盤産業である工業の持続的な振興
- 未来を切り拓く力強い農業の実現
- 就労支援による「働く場」の創出

- 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進
- 交通アクセス性の高さの活用による定住促進

- 防災力が高く、犯罪のない安全な地域づくり
- 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備
- 生涯を通じて学び、活動できる場や機会の充実
- 地域連携の促進

- 市内外への「袖ヶ浦」の発信強化

地域資源を活用した効果的かつ継続的なシティプロモーションの展開

# 人口ビジョン【案】（概要）

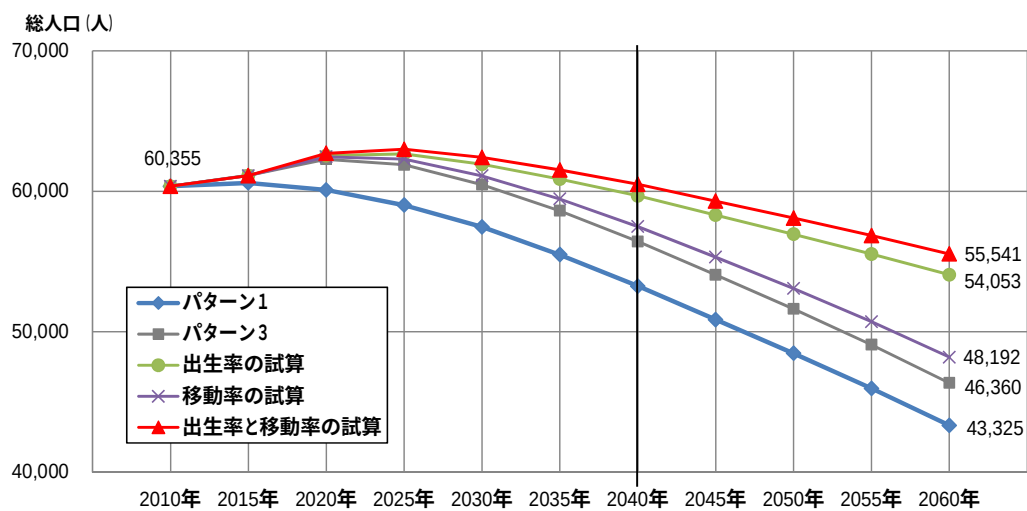
## 現状分析・人口推計

### I.人口の動向分析

- 市の人口は社会増中心に（臨海コンビナートの形成・土地区画整理事業等）で増加。  
1970年：25,500人⇒1991年（市制施行時）：53,679人⇒2010年：60,355人で最近では微増から横ばい傾向。
- 年少人口・生産年齢人口は減少基調、老年人口は増加基調が続いている。
- 20歳前後の若年層が転出（高校卒業後に市外の大学・企業への進学・就職）、20代後半から30代にかけて転入（臨海部の企業への就職や結婚等を契機とした転入）がみられる。
- 近隣市（市原市、君津市、富津市、木更津市）からの転入が多く、千葉県北側にある船橋市、千葉市などへの転出が多い。
- 合計特殊出生率（2013年）は1.45と国（1.43）・県（1.33）より高い。
- アンケートによる市民の希望出生率は1.74（国の目標水準は2.07）
- 就業者の業種では、臨海コンビナートの企業群などの製造業が最も多く就業者全体（28,853人）の17.7%。次いで、卸・小売業、建設業、医療・福祉が多い。
- 市を管轄するハローワーク木更津の有効求人倍率（2014年）は0.98倍と県平均（0.89倍）より高いが、全国（1.09倍）より低い。

### II.将来人口推計シミュレーション

- 社人研推計（パターン1）に、袖ヶ浦海側土地区画整理事業の開発等による2,500人の人口増を加算した推計（パターン3）をもとに、以下のとおり出生率と移動率をそれぞれ仮定した人口推計シミュレーションを行った。



（注）パターン3は、パターン1に人口増加要因として、2025年までに袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業による2,000人の本市外からの人口増と、ミニ開発による500人の本市外からの人口増を加算した試算。

|            |                                                                                                                                   |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 出生率の仮定     | 合計特殊出生率が2013年実績（1.45）から2025年までに希望出生率「1.74」まで上昇し、2040年までに2.07まで上昇すると仮定。移動率は社人研推計に準拠。                                               |
| 移動率の仮定     | 合計特殊出生率は2013年実績（1.45）で推移し、移動率は社人研推計に準拠し、2020年からプラスの移動率は1.2倍の増加、マイナスの移動率は0.8倍に縮小すると仮定。                                             |
| 出生率と移動率の仮定 | 合計特殊出生率が2013年実績（1.45）から2025年までに希望出生率「1.74」まで上昇し、2040年までに2.07まで上昇すると仮定。移動率は社人研推計に準拠し、2020年からプラスの移動率は1.2倍の増加、マイナスの移動率は0.8倍に縮小すると仮定。 |

## 人口の将来展望

### III.人口の将来展望

#### 1. 現状分析を踏まえた課題

- 市の出生率を引き上げるため、結婚・出産・子育てに関して、切れ目のない支援が必要
- 市民のニーズに対応し、工業、農業を中心とした雇用創出に取り組むことが必要
- 地域資源などを有効に活用し交流人口の拡大を図るとともに、子育て環境や街の魅力などを発信し、移住・定住促進を図ることが必要

#### 2. 目指すべき将来の方向性

①結婚・出産・子育てに関する市民の希望の実現

②産業の持続的な発展と安定的な雇用の場の確保

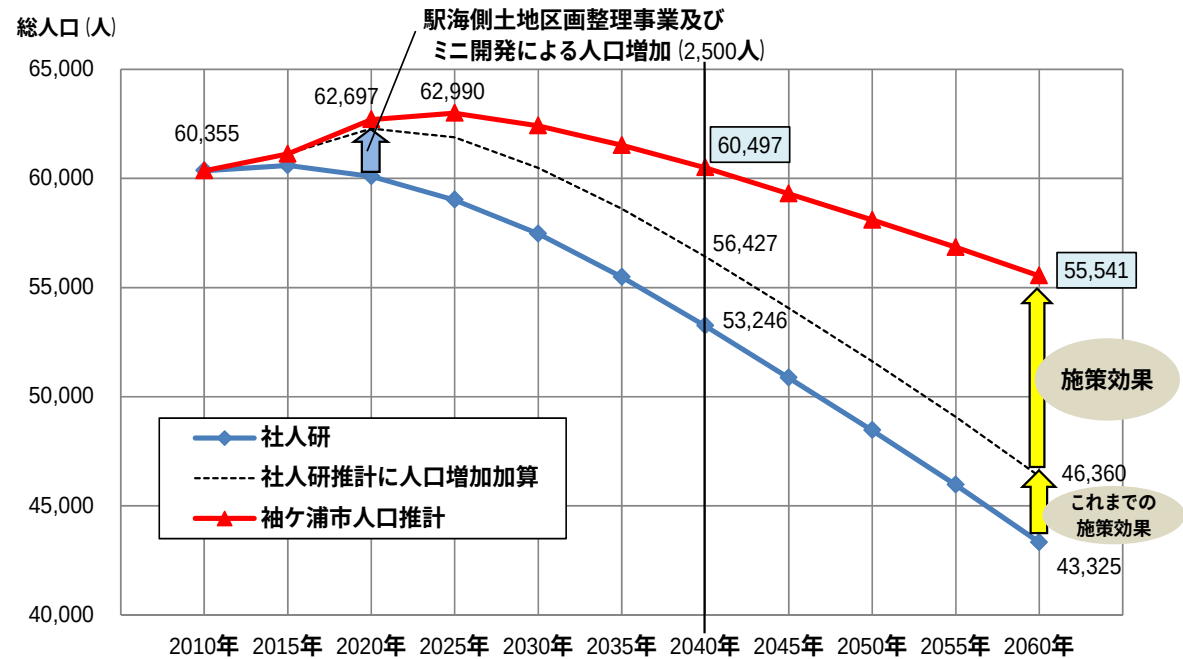
③地域資源を活用した交流人口の拡大と、それに基づく移住・定住の促進

#### 3. 目標設定の前提

- 希望出生率の実現から国の目標水準の達成⇒合計特殊出生率を2025年までに1.74とし、2040年までに2.07に引き上げ、その水準を維持する。
- 移動率の増加⇒20代後半～30代の年齢層の高い移動率など、年齢層全体としてプラスとなっている移動率を増加（1.2倍）、10代後半～20代前半の年齢層など、マイナスとなっている移動率を縮小（0.8倍）させる。

#### 4. 市の将来人口

2060年の市の人口は55,541人となり、社人研推計（43,325人）と比較して、施策効果により12,216人の増加を見込む。



（注）人口増加要因として、2025年までに袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業による2,000人の人口増と、ミニ開発による500人の人口増を加算して試算。

# 総合戦略【案】（概要）

（2015～2019 年度）

## 基本的視点

- 結婚・出産を望む人の障害を取り除く
- 国、県との連携による経済的な支援制度の充実と良好な子育て環境のPR強化
- 地域全体で子育てをしていく社会の構築

- 臨海コンビナートや椎の森工業団地など基盤産業である工業の持続的な発展
- 農業の魅力向上による新たな担い手の確保
- 雇用の場の確保

- 市民の住み心地満足度の向上
- 都心住民の受入体制強化による移住促進
- 観光資源の発掘とPR強化、広域連携等による交流人口の拡大

- 健康で安心して安全に暮らせる地域社会の実現
- 地域のコミュニティ強化
- 地域の歴史・文化の継承と市民の郷土愛の醸成

- 市外・県外住民に対する袖ケ浦市の知名度向上

## 基本目標及び推進の要となる取り組み・基本的方向・具体的な施策

【推進の要】地域資源を活用した効果的かつ継続的なシティプロモーションの展開

### 基本目標① ～結婚・出産・子育ての希望がかなうまち 袖ケ浦～

国や県と連携しながら、結婚、出産、子育てに関する希望や理想を阻害する様々な要因を取り除くとともに、子どもが欲しいと考える市民を後押しすることで、市民の結婚や出産、子育てに関する希望がかなうまちを目指す。

#### 【基本的方向】

- 結婚・出産の支援
- 子育て支援体制の充実
- 学校教育の充実

#### 【具体的な施策】

- 総合的な結婚の支援
- 妊娠・出産を後押しする支援制度の確立
- 幼児期の教育・保育の充実
- 地域で子育てする仕組みの充実
- 教育環境の充実
- 特色ある教育の推進

### 基本目標② ～活き活きと働くことができるまち 袖ケ浦～

袖ケ浦市の基盤産業である工業や農業の持続的な発展を図り、市内産業で多くの働く場・機会を確保するとともに、さまざまな業種・業態の「しごと」によって多くの人を惹きつけ、市民が活き活きと安定的・長期的に働くことができるまちを目指す。

#### 【基本的方向】

- 基盤産業である工業の持続的な振興
- 未来を切り拓く力強い農業の実現
- 就労支援による「働く場」の創出

#### 【具体的な施策】

- 市外からの企業誘致
- 市内立地企業の競争力強化
- 担い手の確保・育成と農地の集約化による有効活用
- 農業の基盤及び競争力の強化
- 企業と人の効果的なマッチングによる雇用促進
- 誰もが働きやすい社会の実現

### 基本目標③ ～住む人も訪れる人も満足できるまち 袖ケ浦～

市民が家族や友人などに誇れる・自慢できるまちとすることで、転入促進と転出抑制につなげるとともに、県内外から袖ケ浦市に人を呼び込み、訪れる観光客が満足できるまちを目指す。

#### 【基本的方向】

- 人を惹きつける魅力ある観光・商業の推進
- 交通アクセス性の高さの活用による定住促進

#### 【具体的な施策】

- 観光振興による交流人口の拡大
- 商業振興による交流人口の拡大
- 若い世代を中心とした移住・定住の促進

### 基本目標④ ～地域がつながり、安心して暮らせるまち 袖ケ浦～

地域生活拠点の医療・福祉・介護環境や防災対策などを充実させるとともに、地域内のコミュニティを活性化させ、地域で支え合う体制づくりを推進することで、生涯にわたって安心して暮らせるまちを目指す。

#### 【基本的方向】

- 防災力が高く、犯罪のない安全な地域づくり
- 健康で元気に暮らせる保健・福祉環境の整備
- 生涯を通じて学び、活動できる場や機会の充実
- 地域連携の促進

#### 【具体的な施策】

- 防災・消防力の強化
- 防犯体制の充実
- 地域における支え合い体制の確立
- 高齢者が活き活きと活躍する社会の実現
- 市民の健康づくり活動の支援
- 多様化・高度化する市民の学習ニーズへの対応
- 文化・芸術活動の推進と、郷土の歴史の保存・継承
- スポーツ・レクリエーション活動の推進
- 地域コミュニティの推進
- 交通ネットワークの強化

#### 【基本的方向】

- 市内外への袖ケ浦市の発信強化